

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成20年4月17日(2008.4.17)

【公表番号】特表2005-510602(P2005-510602A)

【公表日】平成17年4月21日(2005.4.21)

【年通号数】公開・登録公報2005-016

【出願番号】特願2003-547487(P2003-547487)

【国際特許分類】

C 0 8 G 18/48 (2006.01)

C 0 8 G 101/00 (2006.01)

【F I】

C 0 8 G 18/48 F

C 0 8 G 18/48 F

C 0 8 G 101:00

【誤訳訂正書】

【提出日】平成20年2月27日(2008.2.27)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

粘弾性熱硬化性ポリウレタン物質を調製するための反応系であって、

(a) 有機的結合イソシアネート基の数平均官能価 2 ~ 3 及び有機的結合イソシアネート基の総濃度 25 ~ 50 重量%を有する有機モノマー・ポリイソシアネート組成物；

(b) (i) 水 0 ~ 12 %；(ii) 第 1 級及び第 2 級脂肪族的結合ヒドロキシル基の複合公称官能価 2 ~ 4、数平均分子量 400 ~ 1500 並びに複合第 1 級及び第 2 級脂肪族的結合ヒドロキシル基の数平均当量 200 ~ 750 を有する、ポリオキシエチレンベースポリオール 30 ~ 70 %、この場合、該ポリオキシエチレンベースポリオールは 70 重量%を超えるオキシエチレン単位から構成され、該脂肪族的結合ヒドロキシル基の少なくとも 50 モル%は第 1 級ヒドロキシル基である；(iii) 第 1 級及び第 2 級脂肪族的結合ヒドロキシル基の複合公称官能価 2 ~ 4、数平均分子量 400 ~ 1500 並びに複合第 1 級及び第 2 級脂肪族的結合ヒドロキシル基の数平均当量 200 ~ 750 を有する第 2 ポリオキシアルキレンベースポリオール 30 ~ 70 重量%、この場合、該第 2 ポリオキシアルキレンベースポリオールは、オキシプロピレン単位、オキシテトラメチレン単位及びオキシプロピレン単位とオキシテトラメチレン単位との組み合わせから成る群から選択される、70 重量%を超えるオキシアルキレン単位から構成される；(iv) 第 1 級及び第 2 級脂肪族的結合ヒドロキシル基の複合公称官能価 2 ~ 4、並びに複合第 1 級及び第 2 級脂肪族的結合ヒドロキシル基の数平均当量 750 を超えて 4000 までを有する、(b) (ii) 及び (b) (iii) とは異なる、ポリオキシプロピレン又はポリオキシエチレン - ポリオキシプロピレンポリオール 0 ~ 20 %、この場合、該ポリオキシプロピレン又はポリオキシエチレン - ポリオキシプロピレンポリオールは、オキシエチレン単位のオキシプロピレン単位に対する重量比率 0 : 100 から 90 : 10 までを含有する；(v) 複合イソシアネート反応性基官能価 2 ~ 4 及びイソシアネート反応性基の当量 30 から 200 未満までを有する有機ポリオール 0 ~ 15 %、この場合、該イソシアネート反応性基は、第 1 級脂肪族アルコール基、第 2 級脂肪族アルコール基、及び脂肪族第 2 級アミン基から成る群から選択される 1 つ以上のメンバーに限定され、該イソシアネート反応性基の少な

くとも2つはアルコール基である；を含むイソシアネート反応性成分であって、(b)(iii)の(b)(iii)に対する重量比率が70：30から30：70までであり、(b)(iii)と(b)(iii)との複合重量が該イソシアネート反応性成分の少なくとも53重量%を構成する該イソシアネート反応性成分；

(c) 任意の界面活性剤；

(d) 触媒；並びに

(e) 染料、顔料、内部離型剤、物理的発泡剤、化学的発泡剤、難燃剤、充填剤、強化剤、可塑剤、煙抑制剤、フレイグランス、帯電防止剤、殺生物剤、酸化防止剤、光安定剤、接着促進剤及びこれらの組み合わせから成る群から選択される、任意の添加剤；

を含み、該反応系における、有機的結合イソシアネート基のイソシアネート反応性基全体に対する比率が、0.50より大きく1.10まで変動する反応系。

【請求項2】

有機的結合イソシアネート基のイソシアネート反応性基全体に対する比率が、0.70より大きく1.00未満までである、請求項1記載の反応系。

【請求項3】

任意の添加剤の総重量が、反応系の総重量の30%未満である、請求項1記載の反応系。

【請求項4】

反応系が、水以外の発泡剤含量が1重量%未満であって、水以外の発泡剤を本質的に含まない、請求項3記載の反応系。

【請求項5】

(b)(iii)及び(b)(iii)の少なくとも一方が、2より大きい、イソシアネート反応性基の公称官能価を有する、請求項3記載の反応系。

【請求項6】

(b)(iii)及び(b)(iii)の少なくとも一方が、公称トリオールである、請求項3記載の反応系。

【請求項7】

(b)(iii)及び(b)(iii)の両方が、公称トリオールである、請求項3記載の反応系。

【請求項8】

有機モノマー・ポリイソシアネート組成物が、2より大きい、イソシアネート基の数平均官能価を有する、請求項3記載の反応系。

【請求項9】

有機モノマー・ポリイソシアネート組成物が、2.1より大きい、イソシアネート基の数平均官能価を有し、重量基準で主として、MDIシリーズの1種類以上のポリイソシアネートから成る、請求項3記載の反応系。

【請求項10】

(b)(iii)の構造中のオキシアルキレン単位が本質的にオキシプロピレン単位から成る、請求項3記載の反応系。

【請求項11】

(b)(iii)及び(b)(iii)の各々の数平均ヒドロキシル当量が350から500まで変動する、請求項3記載の反応系。

【請求項12】

反応系が、該反応系の総重量を基準にして0.1～5重量%のポリシロキサン・ポリエーテル界面活性剤を含有する、請求項3記載の反応系。

【請求項13】

請求項1記載の反応系から調製される粘弾性ポリウレタン物質。

【請求項14】

発泡剤が、場合によっては、1種類以上の溶解又は分散した大気ガスと組み合わせた、水から成る、請求項13記載の粘弾性ポリウレタン物質。

【請求項 15】

気泡質粘弾性ポリウレタン熱硬化性物質を調製するための反応系であって、

(a) 有機的結合イソシアネート基の数平均官能価 2 ~ 3 及び有機的結合イソシアネート基の総濃度 28 ~ 35 重量%を有する有機モノマー・ポリイソシアネート組成物；

(b) (i) 水 0.15 ~ 10%；(ii) 第1級及び第2級脂肪族的結合ヒドロキシル基の複合公称官能価 2 ~ 3、数平均分子量 400 ~ 1500 並びに複合第1級及び第2級脂肪族的結合ヒドロキシル基の数平均当量 300 ~ 550 を有する、ポリオキシエチレンベースポリオール 30 ~ 70%、この場合、該ポリオキシエチレンベースポリオールは 75 重量%を超えるオキシエチレン単位から構成され、該脂肪族的結合ヒドロキシル基の少なくとも 75 モル%は第1級ヒドロキシル基である；(iii) 第1級及び第2級脂肪族的結合ヒドロキシル基の複合公称官能価 2 ~ 3、数平均分子量 400 ~ 1500 並びに複合第1級及び第2級脂肪族的結合ヒドロキシル基の数平均当量 300 ~ 550 を有する第2ポリオキシアルキレンベースポリオール 30 ~ 70 重量%、この場合、該第2ポリオキシアルキレンベースポリオールは、オキシプロピレン単位、オキシテトラメチレン単位及びオキシプロピレン単位とオキシテトラメチレン単位との組み合わせから成る群から選択される、90 重量%を超えるオキシアルキレン単位から構成される；(iv) 第1級及び第2級脂肪族的結合ヒドロキシル基の複合公称官能価 2 ~ 4、並びに複合第1級及び第2級脂肪族的結合ヒドロキシル基の数平均当量 750 より大きく 4000 までを有する、(b) (ii) 及び (b) (iii) とは異なる、ポリオキシプロピレン又はポリオキシエチレン - ポリオキシプロピレンポリオール 0 ~ 20%、この場合、該ポリオキシプロピレン又はポリオキシエチレン - ポリオキシプロピレンポリオールは、オキシエチレン単位のオキシプロピレン単位に対する重量比率 10 : 90 から 30 : 70 までを含有する；(v) 複合イソシアネート反応性基官能価 2 ~ 3 及びイソシアネート反応性基の当量 30 から 95 未満までを有する有機ポリオール 0.15 から 10% 未満まで、この場合、該イソシアネート反応性基は、第1級脂肪族アルコール基、第2級脂肪族アルコール基、及び脂肪族第2級アミン基から成る群から選択される1つ以上のメンバーに限定され、該イソシアネート反応性基の少なくとも2つはアルコール基である；を含むイソシアネート反応性成分であって、(b) (ii) の (b) (iii) に対する重量比率が 60 : 40 から 40 : 60 までであり、(b) (ii) と (b) (iii) との複合重量が該イソシアネート反応性成分の少なくとも 85 重量%を構成する該イソシアネート反応性成分；

(c) 界面活性剤；

(d) 触媒；並びに

(e) 染料、顔料、内部離型剤、物理的発泡剤、化学的発泡剤、難燃剤、充填剤、強化剤、可塑剤、煙抑制剤、フレイグランス、帯電防止剤、殺生物剤、酸化防止剤、光安定剤、接着促進剤及びこれらの組み合わせから成る群から選択される、任意の添加剤；

を含み、該反応系における、有機的結合イソシアネート基のイソシアネート反応性基全体に対する比率が、0.8 より大きく 0.95 未満まで変動する反応系。

【請求項 16】

任意の添加剤の総重量が、反応系の総重量の 20% 未満である、請求項 15 記載の反応系。

【請求項 17】

反応系が、水以外の発泡剤含量が 1 重量未満であって、水以外の発泡剤を本質的に含まない、請求項 16 記載の反応系。

【請求項 18】

(b) (ii) 及び (b) (iii) の少なくとも一方が、2 より大きい、イソシアネート反応性基の公称官能価を有する、請求項 16 記載の反応系。

【請求項 19】

(b) (ii) 及び (b) (iii) の少なくとも一方が、公称トリオールである、請求項 16 記載の反応系。

【請求項 20】

(b)(ii)及び(b)(iii)の両方が、公称トリオールである、請求項16記載の反応系。

【請求項21】

有機モノマー・ポリイソシアネート組成物が、2.1より大きい、イソシアネート基の数平均官能価を有し、重量基準で主として、MDIシリーズの1種類以上のポリイソシアネートから成る、請求項16記載の反応系。

【請求項22】

(b)(iii)の構造中のオキシアルキレン単位が本質的にオキシプロピレン単位から成る、請求項16記載の反応系。

【請求項23】

(b)(ii)の数平均ヒドロキシル当量が350～500の範囲内であり、(b)(iii)の数平均ヒドロキシル当量が350～500の範囲内である、請求項16記載の反応系。

【請求項24】

反応系が、該反応系の総重量を基準にして0.25～2.5重量%のポリシロキサン・ポリエーテル界面活性剤を含有する、請求項16記載の反応系。

【請求項25】

請求項16記載の反応系から調製される粘弾性ポリウレタン気泡質熱硬化性物質。

【請求項26】

発泡剤が、場合によっては、1種類以上の溶解又は分散した大気ガスと組み合わせた、水から成る、請求項25記載の粘弾性ポリウレタン気泡質熱硬化性物質。

【請求項27】

気泡質粘弾性ポリウレタン熱硬化性物質を調製するための反応系であって、

(a)有機的結合イソシアネート基の数平均官能価2～3及び有機的結合イソシアネート基の総濃度28～35重量%を有する有機モノマー・ポリイソシアネート組成物；

(b)(i)水2～5%；(ii)第1級及び第2級脂肪族的結合ヒドロキシル基の複合公称官能価2から、数平均分子量400～1500並びに複合第1級及び第2級脂肪族的結合ヒドロキシル基の数平均当量300～550を有する、ポリオキシエチレンベースポリオール30～70%、この場合、該ポリオキシエチレンベースポリオールは90重量%を超えるオキシエチレン単位から構成され、該脂肪族的結合ヒドロキシル基の少なくとも90モル%は第1級ヒドロキシル基である；(iii)第1級及び第2級脂肪族的結合ヒドロキシル基の複合公称官能価2～3、数平均分子量400～1500並びに複合第1級及び第2級脂肪族的結合ヒドロキシル基の数平均当量300～550を有する第2ポリオキシアルキレンベースポリオール30～70重量%、この場合、該第2ポリオキシアルキレンベースポリオールは、オキシプロピレン単位、オキシテトラメチレン単位及びオキシプロピレン単位とオキシテトラメチレン単位との組み合わせから成る群から選択される、90重量%を超えるオキシアルキレン単位から構成される；(iv)第1級及び第2級脂肪族的結合ヒドロキシル基の複合公称官能価2～3、並びに複合第1級及び第2級脂肪族的結合ヒドロキシル基の数平均当量750より大きく4000までを有する、(b)(ii)及び(b)(iii)とは異なる、ポリオキシプロピレン又はポリオキシエチレン-ポリオキシプロピレンポリオール0～20%、この場合、該ポリオキシプロピレン又はポリオキシエチレン-ポリオキシプロピレンポリオールは、オキシエチレン単位のオキシプロピレン単位に対する重量比率10：90から30：70までを含有する；(v)複合イソシアネート反応性基官能価2～3及びイソシアネート反応性基の当量30から95未満までを有する有機ポリオール0.15から3%未満まで、この場合、該イソシアネート反応性基は、第1級脂肪族アルコール基、第2級脂肪族アルコール基及び脂肪族第2級アミン基から成る群から選択される1つ以上のメンバーに限定され、該イソシアネート反応性基の少なくとも2つはアルコール基である；を含むイソシアネート反応性成分であって、(b)(ii)の(b)(iii)に対する重量比率が60：40から40：60までであり、(b)(ii)と(b)(iii)との複合重量が該イソシアネート反応性成分

の少なくとも 85 重量%を構成する該イソシアネート反応性成分；

(c) 任意の界面活性剤；

(d) 触媒；並びに

(e) 染料、顔料、内部離型剤、物理的発泡剤、化学的発泡剤、難燃剤、充填剤、強化剤、可塑剤、煙抑制剤、フレイグランス、帯電防止剤、殺生物剤、酸化防止剤、光安定剤、接着促進剤及びこれらの組み合わせから成る群から選択される、任意の添加剤；

を含み、該反応系における、有機的結合イソシアネート基のイソシアネート反応性基全体に対する比率が、0.8より大きく0.95まで変動する反応系。

【請求項 28】

任意の添加剤の総重量が、反応系の総重量の15%未満である、請求項 27 記載の反応系。

【請求項 29】

反応系が、水以外の発泡剤含量が1重量未満であって、水以外の発泡剤を本質的に含まない、請求項 28 記載の反応系。

【請求項 30】

(b)(ii) 及び (b)(iii) の少なくとも一方が、2より大きい、イソシアネート反応性基の公称官能価を有する、請求項 28 記載の反応系。

【請求項 31】

(b)(ii) 及び (b)(iii) の少なくとも一方が、公称トリオールである、請求項 28 記載の反応系。

【請求項 32】

(b)(ii) 及び (b)(iii) の両方が、公称トリオールである、請求項 28 記載の反応系。

【請求項 33】

有機モノマー・ポリイソシアネート組成物が、2.1より大きい、イソシアネート基の数平均官能価を有し、重量基準で主として、MDIシリーズの1種類以上のポリイソシアネートから成る、請求項 28 記載の反応系。

【請求項 34】

(b)(iii) の構造中のオキシアルキレン単位が本質的にオキシプロピレン単位から成る、請求項 28 記載の反応系。

【請求項 35】

(b)(ii) の数平均ヒドロキシル当量が350～500の範囲内であり、(b)(iii) の数平均ヒドロキシル当量が350～500の範囲内である、請求項 28 記載の反応系。

【請求項 36】

反応系が、該反応系の総重量を基準にして0.25～2.5重量%のポリシロキサン-ポリエーテル界面活性剤を含有する、請求項 28 記載の反応系。

【請求項 37】

請求項 28 記載の反応系から調製される粘弾性ポリウレタン気泡質熱硬化性物質。

【請求項 38】

発泡剤が、場合によっては、1種類以上の溶解又は分散した大気ガスと組み合わせた、水から成る、請求項 37 記載の粘弾性ポリウレタン気泡質熱硬化性物質。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0085

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0085】

(2) JEFFOL (登録商標) G30-167 ポリオール：これは、約167のヒドロキシル価を有する プロポキシル化グリセリン である。この製品は、公称トリオールであ

り、Huntsman Polyurethanes から商業的に入手可能である。